

【野外炊事】

「自主活動」または「有料講師」



国立赤城青少年交流の家は持続可能な開発目標 (SDGs)を支援しています。

本プログラムでは重点項目を2つ設定しています。



内容

グループにわかれ、火をおこし、自分たちの手で食事を作ります。火のぬくもりとともに仲間との親睦を深めることができます。

活動に必ず必要なもの

- ・食堂事前発注 : カレーライス(8人セット)(4人セット) ※ご飯の炊き上げの有無
BBQ(8人セット)(4人セット) ピザ・ポトフ(8人セット)(4人セット)
パエリア(8人セット)(4人セット)
※8人セットまたは4人セットのみの発注です。
- ・利用団体購入 : 薪 1束750円(1かまど1束程度)
- ・利用団体持ち物 : ①新聞紙 ②ライター等 ③軍手 ④ハンドソープ ⑤食器用布きん
⑥テーブル用布きん ⑦スポンジ ⑧食器用洗剤
⑨鍋のすずをおとせるもの(布たわし推奨) ⑩懐中電灯(夕食時) ⑪救急用品

活動前の準備

- ・事務室で担当職員と事前打ち合わせを行う。
(「打ち合わせシート」「安全な野外炊事のために(例:カレーライス)」使用)
- ※活動場所・時間、食数等の確認の確認を行う。
- ・講師を依頼した団体は、開始前に講師と打ち合わせを行う。
- ※打ち合わせ場所と時間は、事前に団体が講師と打ち合わせしておく。
- ・「食器・食材庫の鍵」「ビニール袋3枚(生ごみ・燃えるごみ・ビニール)」「検体袋」
「野外備品使用報告書」を受け取る。
- ・食堂に食材を取りに行き、「団体名、食材の種類・量等」を確認する。
- ※数量の間違いや痛み等がありましたら、その場で確認してください。
- ・机、テーブル等を配置する。※屋根付き広場使用の場合

活動の流れ

- ・会場までの移動時間等を考慮して活動時間を設定する。

【活動中】

- ①交流の家職員からの説明(セーフティトーク ※SDGs「薪を使うことの意義」含む)を聞く。
(15分程度)。
- ②引率者が、活動時間や終了時間等の補足説明をする。
- ③引率者の合図で、活動を開始する。

【野外炊事終了後】

- ①使用した場所、道具を片づける。※片付け方については、下記「留意点」参照
- ②点検の10分前に鍋(鉄板)点検の連絡を事務室にする。 ※内線電話(センター棟内)
- ③「食器・食材庫の鍵」を事務室に返却し、活動終了の報告をする。
- ④「検体」「野外備品使用報告書」を食堂に提出する。

留意点

【打合せ関係】

- ・打ち合わせは、到着後できるだけ早い時期にお願いします。

【野外炊事活動中】

- ・食器等は、はじめに全て洗ってください。
- ・肉類は、使用する直前まで冷蔵庫に入れておいてください。
- ・かまど内の薪は燃やし尽くしてください。かまどに水をかけないでください。
- ・使用した薪数の確認は、正確に行い、「野外備品使用報告書」に記入してください。

【片付け】

- ・ゴミは分別し、ゴミ庫に入れてください。
※「生ごみ」「燃えるごみ」「ビニール」「ペットボトル」「ビン」「カン」「段ボール」
※持ち込みの食器類(簡易食器・割りばし等)は、持ち帰っていただきます。
- ・鍋(鉄板)以外の洗い終わった食器は、団体指導者のチェックを受け、アルコール消毒後、元の位置に返却してください。

【その他】

- ・安全上、職員が中止の判断をすることがあります。